2024年 8月 26日（月）　共栄　源義経新聞　第　号

共栄 源義経新聞

音更町立
共栄中学校
1年A組
横田滉大

戦の天才 平氏を滅ぼす 義経

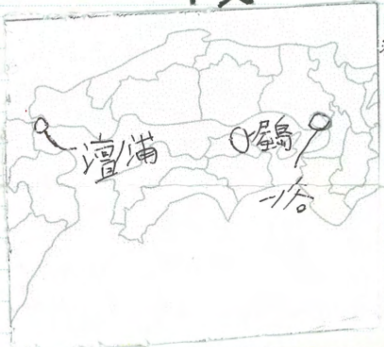
ありえない戦術!? 一ノ谷・屋島・壇ノ浦の合戦

義経が戦の天才と呼ばれた戦いが三つある。一つ目は一ノ谷の戦い。神戸の一ノ谷というとても険しい崖でおこった。一ノ谷で平家は崖下に陣を構えており、崖と海に囲まれたとても攻めにくい場所だった。平家は海からの攻撃ばかりを気にして崖の上は気にしていなかった。義経はそこをつき、崖を下って、平家に奇襲をかけ見事勝利した。

二つ目は屋島の戦いだ。屋島はとても見晴らしのいい所で攻めようとするとすぐにバレてしまう。しかし義経は見晴らしの悪い嵐の日に出陣し、またしても勝利した。

三つ目は、壇ノ浦の戦いだ。現在の山口県下関の海上で行われついに平氏を滅ぼした。

義経は、平教経と戦い教経が攻撃をかわしながら次々と船を飛び移り（八艘飛び）見事勝利した。



義経の一生

一一五九年平安後期
義経誕生
十二月 平氏の乱
一一六〇年
父義朝没
幼少期 鞍馬寺へ預けられる。
兄頼朝が伊豆へ流罪
一一七四年 元服
一一八〇年 頼朝挙兵
九月 義仲挙兵
十月 頼朝義経対面
義経、義仲追討のため京を発つ
一一八四年
一月 義仲を討つ
七月 一ノ谷で勝利
九月 検非違使に任
一一八五年
屋島の戦いで勝利をおさめる
鎌倉幕府ができる
三月 壇ノ浦の戦いで勝利
「平氏滅亡
十一月
義経追討の院宣が出る
一一八九年
藤原泰衡の攻撃にあい三一才で自害し亡くなる。
九月 藤原氏滅亡

兄 頼朝との関係

兄・頼朝

弟・義経

源頼朝は義経の異母兄で義経が一才の時に捕まり、伊豆へ流罪になっていたが、その後、打倒平家のため、挙兵する。

義経は、その挙兵を知り、こちらも打倒平家のため奥州平泉（岩手県）から戦いに来た。

義経が連戦連勝していると朝廷から検非違使（都の治安を守る役職）の官位を受けてしまう。これに頼朝は大激怒した。なぜかというと、頼朝は武士だけの幕府の確立を目指し家臣が頼朝に無断で官位を受けることは許してはいなかったのに義経は勝手に官位を受けたからだ。義経は平家討伐軍から外される。しかし、義経を欠いた討伐軍は平家を追いつめるが決定的な打撃を与えることができなかった。やむなく頼朝は義経を討伐軍に戻した。義経は平家を滅ぼし この後 義経は頼朝に命を狙われることになり、奥州平泉で自害した。源氏を勝利に導くも兄に敗れた悲劇の英雄となった。

頼朝はその後鎌倉幕府をつくった。

生涯の相棒 弁慶

義経は元服（成人）する前は、牛若丸という名前だった。牛若丸は、幼い頃から武芸の修業を始めた。修業を始めた頃夜になると橋で刀をよ「こせ」と要求する悪僧がいるといううわさを聞いた。牛若丸はさっそく夜、橋へ行き悪僧をたおした。そして数年後、牛若丸が打倒平家のため奥州平泉へ行く時、悪僧は武蔵坊弁慶と名のり、牛若丸の最初の家来となった。

それから、牛若丸は義経となり、色々な戦いに参加するようになり、義経と弁慶は大事な仲間になった。

義経が追われる身となった時には義経だとバレそうになった時にわざと棒でたたき他人と見せかけて逃れたこともある。それほど強い信頼があった。

編集後記

僕はこの新聞を作る前、義経は源氏で平氏を滅ぼした人だと軽く知っていただけでした。しかし、今回調べて活躍しても身内に殺されてしまうこともあるんだなと思いました。がんばったのにかわいそうでした。他にもそういう人がいないのか気になりました。